

# 市民の命と暮らしを削減 市駅前開発に（市費負担314億円） 「大型開発ストップ、コロナ対策優先、 市民の命と暮らしを守る緊急要望書」の署名を

コロナ感染がまだ深刻な中でも枚方市は、大企業中心の枚方市駅前再開発を進めようとしています。現市民会館、大ホール、市役所庁舎などの跡地を民間に売却して、タワーマンションや大規模商業施設を建設しようとしています。

そのために、枚方市として314億円を負担するとしており、そのための市民の命と暮らしを守る市の重要施策が次々削減されようとしています。

## 図書館から本・雑誌が消えていく？

昨年枚方の図書館の雑誌・新聞購入予算が大きく削減。中央図書館、分館・分室の書架には「購読中止」の張り紙がいたる所に貼られる状況が広がりました。

枚方の図書館予算がこの間大きく減らされ続け年度2019年当初予算より2021年度当初予算は5億円削減、図書購入関係費も1千万円以上削減されています。

## 暮らしの施策は次々削減

- 生涯学習市民センター、市立枚方病院、公園などの駐車場を有料化
- 留守家庭児童会を民間委託に、
- 国民健康保険料を引き上げ

## 市民の財産＝私有地を売却

現市民会館や大ホール、市役所庁舎などの市有地を、民間企業に売却、その後の利用は企業任せで、大規模商業施設、タワーマンション計画に。

コロナ不況が深刻にもかかわらず、経済見通しも不確かな中で、大規模開発に突き進んでいます。

## 市の貴重な積立金が100億円⇒41億円に

コロナ対策のために2020年度は、財政調整基金（災害など緊急時に対応する市の積立金）から約56億円を支出しています。

企業中心の大規模開発のために、この積立金も取り崩す計画です。市の財政シミュレーションでは、100億円の積立金が、10年後には41億円にまで減少してしまいます。

## 「大型開発ストップ、市民の命と暮らしを守る緊急要望書」の署名を

枚方教組も加わる明るい民主府市政をつくる枚方連絡会は、「市民不在の大型開発ストップ！コロナ対策優先、市民の命と暮らしを守る緊急要望書」の署名を呼びかけています。

職場で署名を広げて、市政を、市民の命や暮らしを守り、安心して子どもたちが成長できる者に転換していきましょう。

## まなび庵



# 「笑顔広がる学級づくり」

—中学校の実践から学ぶ、

今だからこそ教師が大切にしたいこと—

6月12日（土）10:00～

枚方市民会館第4会議室

講師 **小池敦子**さん（元枚方市中学校教員）

**内容** 小池先生は、枚方の中学校で長く、子どもや保護者とのつながり、信頼関係を大切にした学校づくり、子どもたちの力を引き出す学級づくりに取り組んでこられました。

今回のまなび庵では、中学生の思いや願いを大切に、子どもたちが成長できる学級づくりについて学びます。また、保護者との信頼関係を結ぶ手だてを、具体的に紹介していただきながらみんなで学びたいと思います。

参加費 **300円** で  
どなたでも参加できます

